

再編学校

草木小学校

草木小学校は、明治8年に中草木に住む片山三之助さんの自宅の一室を借りて授業を行ったのが始まりとされています。明治16年には、火災により藤田伝助さんの自宅に移転し、「草木小学校」と称しました。明治38年からは、現在と同じ場所に新築された校舎で授業が始まりました。

昭和49年から校内での相撲大会が始まり、現在まで脈々と受け継がれてきました。昭和57年には、黒沢俊英さんが全県学童相撲大会で個人優勝を果たし、のちに関取・巴富士として活躍しました。また、校内相撲大会前日には、触れ太鼓と呼ばれる行事が行われ、まわしを身につけた児童らが地域を練り歩きました。一時中断されていましたが、平成30年に行われた草木小学校最後の相撲大会で復活し、児童らが地域を回りまわしました。



平成8年・触れ太鼓



昭和63年・校内相撲大会



昭和63年・回廊造校舎

現校舎外観



草木小学校

末広小学校



末広小学校

末広小学校は、明治8年に「松山学校」と称して創立されました。その後、2回にわたる校舎移転を経て、大正12年に現在の場所に建てられました。

昭和15年には、学校のシンボルとなる「すずかけの木」が当時の卒業生により記念植樹され、以来多くの児童に愛されてきました。昭和56年に、秋田県健康優良学校として朝日新聞社から表彰を受けたことをきっかけに「健康もちつき大会」が始まりました。こ

の行事は現在まで続けられています。

平成14年に現校舎が完成しました。校舎建て替えのため伐採された「すずかけの木」は挿し木によって命をつなぎ、その苗木がグラウンド脇に植えられ、今でも育ち続けています。同校の特徴は、地域の方々と共に行う運動会や餅つき大会、田植え、稲刈りなどです。近年では、全校児童で行うハンドベルの演奏などにも力を入れてきました。



平成4年・席書大会



昭和33年・運動会開会式



平成13年・旧校舎とすずかけの木